

平成24年度第6回宇都宮市河内自治会議録

- 1 日 時 平成24年12月5日（水） 午後2時00分～午後5時00分
 2 場 所 河内地域自治センター 第1・2会議室
 3 出席者
 【委員】 杉原弘修委員（会長）、川上幸子委員（副会長）、石渡重道委員、伊藤昭博委員、
 計16名 太田達彦委員、加藤幸雄委員、君島京子委員、駒田静雄委員、櫻井基一郎委員、
 渋井トミ子委員、五月女京子委員、田村正男委員、中西幸子委員、真壁諦委員、
 松谷宣子委員、吉田恵美子委員
 【事務局】 河内地域自治センター所長、北部地区行政推進担当参事、地域自治制度担当副
 計8名 参事、地域経営課長、他4名

4 会議の公開・非公開 公開

5 傍聴者数 なし

6 会議経過

(1) 開会

- ・本日の会議の出席者数は16名、磯川康男委員、清水恵美委員、高久剛一委員が欠席。
委員数の過半数に達しているため、会議が成立することを事務局から報告。

(2) 協議事項

- ①地域のまちづくりに関する施策の提案（テーマ：「教育・文化、健全育成」）について
- ・実現プランの設定について

発言者	発言内容
会 長	<p>本日は、地域のまちづくりに関する施策の提案について、今回のテーマ「教育・文化、健全育成」の提案書（素案）についての協議を行うのでよろしくお願ひする。</p> <p>協議事項の提案書（素案）について、これまでの会議でまとめた意見を元に副会長と協議して、事務局でまとめた。提案書の全体的な構成について事務局から説明をお願ひする。</p>
事務局	資料1の説明
会 長	<p>それでは、資料1について説明があつたが、この後、グループ協議を行う。その際にも提案書の構成について、意見・質問等があると思うので、グループ協議後の質疑応答で、グループでまとめた意見でも、個人の意見でも結構なので発言をお願ひする。</p> <p>次に実現プランについて、協議をお願ひする。</p> <p>第4回と第5回の会議で、委員の方には、実現方策を具体的に進めるための実現プランについて、グループごとに意見を集約し提出していただいた。</p> <p>提案書（素案）については、これらの意見を実現プランとして記載してある。本日は、改めてその内容を確認していただき、表現方法やプランの追加等について、協議をお願ひする。</p> <p>その協議の方法について、事務局より説明をお願ひする。</p>
事務局	協議方法について説明
会 長	<p>協議の方法については、これまでと同じ方法である。本日は提案書（素案）について最終段階の協議になるので、そのことを踏まえて協議をお願ひする。</p>

	<p>各グループには、サポート役として事務局職員が入り、私も各グループを回るので、質問等があれば聞いていただきたい。</p> <p>それでは、午後3時30分まで、グループ協議をお願いする。</p>
<p>実現プランについてのグループ協議を実施</p>	
会 長	<p>時間になったので、協議内容を説明していただきたい。</p> <p>まずAグループ、次にB・Cグループの順でお願いする。質疑応答は、2つのグループ発表後に行う。</p>
委 員	<p>Aグループの発表をする。</p> <p>参考資料1を見ながら説明をさせていただく。</p> <p>No.1①の「マップを作成する」というのは、絶対に必要だと思う。その中で、駐車場やトイレなども明記したほうが良い。③の「高齢者」と記載している部分を高齢者に限定しないで、「地域住民が」としたほうが良い。</p> <p>No.2①は重複するところがあるので、割愛したほうが良いのではないか。③の「特産販売所」の前に「フリーマーケット」を追記し、①の文書を削除したい。</p> <p>No.3③を「文化財の勉強会や講演会を行う。」とし、その後の文書は削除する。④を「文化財一覧のデータ等の管理をする。」とする。⑤を「指導者名簿を作成する。」とし、元の⑤の文章は削除する。</p> <p>No.4①を「地域内の施設を利用して、子どもの作品を定期的に展示する。」とする。②を「昔の遊びを通して異世代が交流する場を設ける。」とし、③を「子どもから高齢者まで一緒に学べる活動を行う。」に修正する。</p> <p>No.5①の最後を「学べる機会を作る。」と記載するよりは、「楽しむ機会を作る。」としたほうが良い。②を「地域に残された自然環境を生かし、体験学習をする。」に修正したい。</p> <p>No.6①を「高齢者の人生経験を徳育に活用し、小中学校で高齢者による出前講座を開く。」とし、③を「高齢者のリーダーを養成する。」とした。</p> <p>No.7①を「小学生向け」の記載を「子ども向け」と優しい感じに修正したほうが良い。</p> <p>No.8①を「自然の中での演奏会を開催する。」で区切り、②を「御用川で魚のつかみ取り大会をする。」とした。元の②の文章を③とし、元の③の文章④とする。元の④の文章は重複するところがあるので、割愛した。</p> <p>No.9②を「子どもたちが、野菜作りを体験し楽しむ。」と柔らかい表現とした。④を「学校と地域が連携し、地域の伝統料理を体験する。」と修正した。</p> <p>No.10②を「連風の競技会の復活。」「芋煮会を開催する。」「かかしまつりの実施。」「田んぼの中で星を眺めながらスライド・映画鑑賞する。」とそれぞれ別の文章とした。</p> <p>No.11①を「写生会を実施し、自然観察をする。」と修正した。②は、すでに学校で、実施しているので削除した。</p> <p>No.12①、②、③は、このままの表記とし、④は重複するところがあるので、割愛した。</p>
委 員	<p>B・Cグループの発表をする。</p> <p>提案書(素案)を見ながら、説明したい。3頁のまちづくり提案の体系図を見ていただきたい。5年かけて、様々なテーマをやる。現在は、『教育・文化、</p>

健全育成』だが、この図の中に、自治センターと生涯学習センターの一体化の施設の問題が入っていないので、そのような文言を特例のような形で、入れて検討していただきたい。

私たちグループから出た意見は、全体的に実現プランを実施していく場合にどうやって円滑に進めていくかといふことだ。全てに関わっていると思う。例えばコーディネーターを入れてほしいということ。コーディネーターやボランティアなど一芸を持った人の養成がプラスされていくと思う。

6頁の(実現方策1)の実現プランから意見を発表する。「生涯学習センター、地域公民館が集いと学びの中心拠点とする。」を追加する。拠点がいろいろな活動の場として、提供されていくような形で、具体的に話がまとまっていくと良い。次に③を「子どもから高齢者まで学べる場をつくり、コーディネーターが運営していく。」と修正した。高齢者という言葉にグループとしては、疑問を投げかけたが、良い言葉が見つからなかったため、そのまま使用する。また、この文にもあるように、コーディネーターという言葉を活かしていきたい。

(実現方策2) ②③を実施するために『『地域の日』を設ける。』とまとめた。そして、「田んぼの学校を活用して」の文言を追記してはどうか。

(実現方策3)の「高齢者」の表記を「特技保持者」としてはどうか、という案が出た。そして、「年間活動プランを作成の上、活動することとする。」と追加し、コーディネーター等が中心になって、実施していくような形にしてはどうか。

(実現方策4)の実現プランの中に、「スポーツのまち河内」の文言を入れていただきたい。そして「観察会を実施するためにコーディネーターを養成する。」の文言を追記していただきたい。また、「小中学校にカリキュラムを設けて取り組むこととする。」と具体的な言葉を入れて実施プランとしたい。

(実現方策5)は、素案のままで良い。

(実現方策6)は、①に「既存の施設の使用を充実するため広報活動をしていく。」を追加する。

(実現方策7)の④を展示は、一時的でなく、「常設室又はコーナーを設ける。」と修正し、「文化財の学びから発信し河内の新たな文化作りに取り組む。」と追加する。

(実現方策8)は、素案のままで良い。

(実現方策9)は、「歴史に学び現代に生かすための学びの場とする。」を追加する。

(実現方策10)に、追加項目として、「スポーツの振興」を入れてほしい。また、「自治会対抗で盛り上がる催しを定着させる。」を入れたいという意見が出た。

(実現方策11)では、「小学校での課外時間を地域スポーツの導入を図る。」という意見が出た。

(実現方策12)は、「地域活動の指導者とボランティアの裾野を広げる。」と追加し、指導者だけではなくて、ボランティアの養成ということも追記してほしい。①に「経験豊かな高齢者を指導者に迎え、次世代の指導者を養成し一芸のボランティア登録制度を推進する。」と修正し、提案に入れていただきたい。

以上だが、すべてに言えるのが、コーディネーターの活動やボランティアの

	活動が地域の推進に欠かせないということを、全体を通して、提案させていただきたい。
会 長	AグループとB・Cグループの発表が終わったが、何か質問等あるか。
会 長	<p>皆さんの意見を基本に最終案とし、私と副会長で協議を行い、事務局でまとめていただく。その際、私たちが常に念頭に置くのは、皆さんに配付してある提案書（素案）の1頁の3段のところで、「今回の提案にあたりましては、これまでの提案とはスタイルを変え、これからのまちづくりは地域が自ら取り組むことを基本に、住民自治の観点から次の3点を念頭に取り組みをはじめました。ということ。その1つ目は、「地域の多くの人の意見を集約した提案とする。」。2つ目は、「自分たち（地域）に『何が出来るか』常に意識する。」。3つ目は、「10年後の理想と実現性を描く。」を常に念頭に置いて、皆さんの意見を集約してきた。</p> <p>従来の要望型のスタイルで、「何をしてくれ。」「これを作ってほしい。」と市民の利便性の要望型が多かった。このスタイルを変えることで、「自分たちで何が出来るか」、主体性の問題で、実際に予算をかけなくてもでき、効率性、実現性の問題ということで、提案の多くを集約したり制限したりした。</p> <p>地域で自分たちに何が出来るか、実現性に重きを置いた提案だということは、今回、皆さんの提案の中かなりの制約を課したが、これが、今回の自治会議の提言の主旨である。</p> <p>先ほどB・Cグループから、再三にわたって提案をいただいた「地域自治センターの整備をどこかに盛り込んでほしい。」という意見は、皆さんもご存知の通り、この自治会議には、主な2つの役割がある。その1つは、8月7日に実施した、合併市町村基本計画の12事業の執行状況について、市長へ答申書を出すこと。もう1つは、執行状況を促すというよりも、地域のまちづくりに関する施策について提案することである。自らできる範囲のものを決めて実施していく。という二つの性格を持っている。8月7日に提出した執行状況の答申書では、かなり強い要望を出した。その中には、地域自治センターの整備を市民が要望していることも盛り込んだ。市長にこれを受け取っていただき、新聞にも、大きく掲載された。</p> <p>これらの流れの中で、8月29日に自治拠点施設建設促進委員会が発足された。その委員会のメンバーに、自治会議委員としての立場ではないが、数名の方が参加している。その委員会として、行政側に要望を出していると聞いている。具体的に実現させていく方向性は、できていると思う。</p> <p>我々の自治会議は、その促進委員会と同じではない。むしろここでは、皆さんが長い時間と苦労を重ね、行政が実施する項目を協議するのではなく、自分たちでどこまで、工夫して工面してやっていけるかということを協議するものである。これならば、実現していけるということを提案していただいた。</p> <p>B・Cグループから出されている地域自治センターの整備等についての意見は、実現プランの中に、具体的に表記することは難しいと思う。1頁の「はじめに」のところに入れる方向で、副会長と協議し検討のうえ、事務局と相談してまとめたいと思う。</p> <p>意見が出された、3頁の「まちづくり提案の体系図」に新たな項目として、地域自治センターの整備を入れるということは、提案の主旨が大きく変わって</p>

	<p>しまうように思う。皆さんの意見をいただきたい。私としては、この「まちづくり提案の体系図」に入れてしまうと、具体的に整備してほしいという印象になってしまうと思う。ただ、地域自治センターの整備が着々と進められているのも事実なので、地域自治センターの整備により活動の場の拡充を期待していて、まちづくりの効果が前進するというところで、1頁の「はじめに」のところに加えてもいいのではないかと思います。</p> <p>ボランティアの裾野を広げるということは、当然、自分たちの手で作ることでないので、入れてもいいと思うが、登録制を作るということになると、一般の登録だけでいいのか、行政等の登録にするのかというシステムの問題があるので、広い意味では、行政にやってほしいという要望に繋がる。</p> <p>高齢者の言い方を「特技保持者」としてはどうかという意見が出た。「特技保持者」というのは、高齢者の中の「特技保持者」を言っているのか。一般的に「特技保持者」を指す場合、高齢者の中の「特技保持者」と言ってしまうと、「特技保持者」でない高齢者は、肩身が狭い感情になると思う。「特技保持者」は一種の差別用語になってしまう。</p> <p>小中学校にカリキュラムを設けて取り組むということも、市民が自らの力ではできない。教育委員会が決めることになるので、教育委員会にカリキュラムを変えてという要望になってしまう。いろいろな提案があったが、意見を願いたい。</p>
委員	<p>今、指摘された部分について、まず、地域自治センターと生涯学習センターの一本化については、合併市町村基本計画の12事業の中に入っている1項目なので、検討する機会があってもいいのではないかと。今の状態だと、進んでいるのに検討されていない。検討してほしいとはあっても、検討する場が置かれていないので、検討する場が必要ではないかと思う。私たちの二年間でなくても、次の委員になられる方にも、そういう場があってもいいのではないかとこの考えだ。</p> <p>2つ目の「特殊保持者」については、高齢者という言い方のひとつとしての意見として挙げてみた。</p> <p>3つ目のカリキュラムに関しては、学校教育ということではなくて、アウトドア、自然課外活動等が普及していくためには、こういうデータがあってカリキュラムが作られていくという考え方でいいのではないかと。学校のカリキュラムそのものを変えて教育委員会に話していくというのではない。</p>
会長	他に質問はあるか。
事務局	<p>今後、意見をまとめていく際に、教えていただきたい。B・Cグループから提出いただいた（実現方策2）の中に『「田んぼの学校を活用して」の文言を追加する。』という案は、改めてひとつの項目として追加するという意味か。それとも提案書（素案）に出ている実現プラン②の中に、この文言を追加するということか。</p>
委員	<p>提案書（素案）に出ている実現プラン②の中に、「田んぼの学校を活用して」の文言を追加することで、お願いしたい。</p>
事務局	<p>（実現方策4）に「スポーツのまち河内」の文言の項目を、新たに入れるということか。</p>
委員	委員からの要請があったため、追記でお願いします。

会 長	「地域の日」という提案だが、「何々の日」というイメージを説明する必要があると思うが、いかがか。
委 員	具体的な例はないが、地域としての活動を行うという意味で、「地域の日」を設けたら良いのではないかということだ。
会 長	非常に素晴らしいと思う。具体的なプランのイメージを伝えなければならぬと思う。地域でイベント等をまとめて実施するということか。
委 員	まとめるということではなくて、例えば「県民の日」とか、地域で催しをやっているが、それぞれの地域で行うということだ。
委 員	(実現方策4)の実現プランに「スポーツのまち河内」を入れたいという意見だが、「地域の貴重な自然を守る教育を進める」という方策の中に入れるというのは、馴染まないのではないか。
委 員	「スポーツのまち河内」の文言は、今までも設けてある。継続的に実施していけば、バックボーンとして、皆さんが、スポーツをやる時に、「河内はスポーツのまち」としてイメージを作っていけるようにしたいので、あえてここに、出してある。
事務局	<p>前回の会議でも、「スポーツのまち河内」を入れたいとの意見があった。提案書(素案)の3頁に【テーマⅡ】「福祉,健康,安全,安心」があり,来年度のテーマとなっているので,できたらそちらの中で十分に協議をいただき,実現プランとして入れていただきたいと考えている。</p> <p>貴重なご意見だと思うが,今回の「地域の貴重な自然を守る教育を進める」の方策の中では,実現プランとして馴染まないため,来年度のテーマの中でお願いしたい。</p>
委 員	一つ一つのプランを検討する時間が足りなかったため,グループ協議でも混乱したのだと思う。まとめる方は大変だと思うがよろしくお願いしたい。
会 長	皆さんの貴重な意見なので,できるだけ提案の中に反映できるように,検討させていただきたい。他に意見はあるか。
委 員	<p>先ほど,会長が,地域自治センターと生涯学習センターの整備を1頁の「はじめに」の中に入れるという意見に賛成する。この中にも,文化財がたくさんあるので,常設室を設けての展示会をやりたいと書いてあるが,生涯学習センターと行政機関が一緒になったものを作れば,そこに皆が集まる。</p> <p>拠点の場所にしたいという思いがあるので,そのような配慮で,その中に入れていただきたい。</p>
会 長	検討させていただきたい。他に意見はあるか。
全委員	(意見なし)
会 長	次回,意見をまとめさせていただいたものを提示させていただく。

(3) その他

①次回の開催日程について

- ・平成24年1月29日(火)14:00~を予定

②その他

- ・河内地区自治拠点施設建設促進会についての報告
- ・河内地区文化協会だよりのお知らせ

(4) 閉会